

表題：第2回 DSC 定例会（旧勉強会）

日時：

2015/5/19（火）10:30～12:00

場所：

株式会社三菱総合研究所 4F 大会議室 CD

1. 議題

1) 事務局からのお知らせ

2015年6月10日DSJの後に懇親会を行います。

2) 部会報告

①システム部会

- ・ 部会幹事からの報告
- ・ 各社様の自社製品紹介
- ・ 今後の部会活動のテーマ報告

②プロダクション部会

- ・ DSアワード応募受付中
- ・ 締め切り…20日18時

今回のアワードは、部門分けしてグランプリ選出

部門…技術、ハード、ロケーション、インタラクティブ、広告

→審査員、決定済み

③国際標準戦略部会

- ・ 4月23日 部会開催
- ・ 六月のITU IPTV-GSI会合へ提案ないよう議論
- ・ 新たな日本からの提案
- ・ サービス要件
- ・ まず枠組みを立ち上げた

- ・ 今後DSCで議論して標準化していく
- ・ 用語集の修正変更を提案

④ユーザーズ部会

- ・ 5月28日15時～
- ・ 議事

①web業界に置けるサイネージのトレンド紹介

マイクロアドデジタルサイネージ

②Lアラートとの進捗報告

③DSJ2015の見所

⑤Lアラートワーキング

- ・ 5月28日13:30～
 - ① 各分科会の活動に就いて進捗報告
 - ② 事業者アンケートの実施について（運用分科会）
パブリックビューイング協会等と共有
 - ③ 当面の課題およびスケジュール共有

⑥マーケティングラボ部会

DSJにて何を話すか

①新たにサイネージビジネスの参画するときの落とし穴

- ・ 成功のX過剰の読み解き方
- ・ サイネージの基本の基本
- ・ 失敗事例と成功事例の考察とディスカッション

②デジタルサイネージにおけるモバイル連携のあり方

- ・連携の目的
- ・モチベーションがわく良い話
- ・方法論

- ・連携した2020年の姿

⑦UX部会

- ・5月15日開催

ウミーベ渡部さんより ピクタソンの説明

- ・タッチパネルサイネージをどう喚起していくか

→ピクトグラムを作るデザインソン

- ・次回6月5日開催

ピクタソンとDSJセッションについて詳しく話し合う

3) ゲストプレゼンテーション

①ゲストプレゼンテーション

「米国最新展示会情報」

プレゼンテーター

合同会社江口靖二事務所 江口 靖二 氏

< Digital Signage Expo (DSE) >

○LG

- ・98インチ4Kディスプレイが4面マルチで連動
- コンテンツの作り方、マルチの使い方はよく考えられている
 - ・98インチのディスプレイが4面並び、本物のショーウィンドウに見える
 - ・映像は4K解像度でも本物のように感じる
- ・透明液晶冷蔵庫
 - ・透明度が上がり、ラビックスの解像度や発色のレベルが上がってきている

- ・ラスベガスのコンビニエンスストアにバドワイザーが透明液晶冷蔵庫を3月ぐらいに導入
- ・ Web OS of Signage
 - ・ スマートテレビ用 OS をサイネージに使う
 - ・ テレビ単体でデジタルサイネージのプレイヤーになる(STB が不要)
 - ・ 簡易型のサイネージを想定
 - ・ ビジネスユースの前提の Web OS を使った簡単サイネージ

○SAMSUNG

- ・ スマートサイネージ TV
 - ・ LG と同じコンセプト(今年初めて展示)
 - ・ テンプレートが用意(業態に合わせたものがいくつか入っている)
 - ・ 縦横両方設置可能
 - ・ 1日16時間の動作保証、3年保証
 - ・ LG も SAMSUNG もほぼ同じコンセプトの簡単サイネージ(STB レス)
- 日本でも大きな流れは同じ方向を向いていて、従来のパソコン、STB と CMS と専用のシステムではないより汎用的でより気軽な方向に全てが向かっている

○PLANA

- ・ 透明有機 EL
 - ・ 透明有機 EL はディスプレイ自体が光る(LG 透明液晶冷蔵庫はバックに照明が入っている)
 - ・ ガラスの真ん中に有機 EL の層が入り、クリアに発色していて、明るい
 - ・ 画質・透明度も上がり、数年後にはサイネージにも使われるようになる
 - 商業施設などにディスプレイ自体の存在感のない表示装置の需要がある
 - 透明の有機 EL は非常に注目していくべき

○Eink

- ・ 電子ペーパー
 - ・ 32 インチの電子ペーパーが突然登場
 - ・ 電力が少なく、電源を切っても(方式によって異なる)ある一定期間は表示し続ける
 - 電源が切れても情報を表示し、災害時では有効なデバイスになる可能性がある
 - ・ これまでは、画面を制御するのが難しく大画面の電子ペーパーはなかった
 - ・ 32 インチレベルの電子ペーパーが普及、利用シーンによっては使える

<The Internet & Television Expo (INTX)>

- ・ケーブルテレビ業界のケーブルショーと言われているもの
- ・全米最大のケーブルテレビ展示会で、今年から展示会の名前を変えた
 - ネットフリックスや Hulu が登場し、ケーブルテレビ離れが出てきた
 - ケーブルテレビのイベント、ケーブルテレビ事業者の会合であり展示会の中にケーブルテレビの文字は出てこないことがポイント
 - デジタルサイネージ業界も同じ状況になる可能性が高い
- ・レコード(ウェブマガジン) フィッシャー編集長と NCTA(全米のケーブルテレビ連盟) パウエル CEO の対談
 - ・名前変えた理由、今後ケーブルやフリックスに関して
- ・コムキャスト ロバート CEO
 - ・INTX やケーブルテレビ業界の状況に対してかなり痛恨な前向きな発言
- ・2日目基調講演
 - ・FCC(全米通信委員会) フィラー議長
 - ・ケーブル業界の人達を前にして、IP 伝送の伝送屋になりなさいと断言
 - ・ケーブルテレビは家の中までリーチしている有能な伝送路だが、一方でモバイル系のネットワークがと高速になり、ケーブルテレビの生き残る道は伝送路としてもインフラを活用するしかない
 - IP を流して放送なら放送、それ以外のことを含めて IP の伝送路に
 - ・アメリカは光ファイバーを電話会社が整備しておらず、ケーブルテレビのインフラが非常に強いのでケーブルテレビの生き残り策はそこしかない
 - 世の中メディアの業界が動いて変わっている

< Consumer Electronics Show (CES) >

○IoT の近未来サイネージ

- ・アンバールド (CES 前日にプレス向けにやっているイベント)にてセレボ・岩佐社長
 - ・スノーボードにセンサー付けて iPad 上のアプリケーションにスノーボードの角度やスピードなどを計測して可視化→IoT
- ・IoT の正体
 - ・例えばアップルウォッチ・Fitbit・セレボといったあらゆるモノにコンピュータやセンサーが内蔵されている
 - ・今の段階ではセンサーを内蔵して、それをビジュアル化したり、分析が単独ではできず、その計測したデータを Bluetooth でスマートフォンに転送し、Bluetooth でデータを処理と可視化する
 - ・フィットネス系アプリケーションでは、ランニングデータをクラウドを介してネットワーク(SNS)にあげて共有可能
- ・IoT の近未来サイネージ

- ・スマートフォンを経由していたものが、直でネットワークに接続
 - ・例えば、インテルが作ったエディソンというパソコン(SD カードサイズ)が増えていくとスマートフォンを介す必要はなく、LTE・WiFi・5G でクラウドにダイレクトに接続するようになる
 - ・クラウドから情報を可視化できるため、表示するデバイスはスマートフォンに限らずデジタルサイネージでも表示できる
- 必然的にデジタルサイネージも参加する可能性がある

○エンプラン

- ・デジタルサイネージエクスポの中でのスタートアップ系ブースの中で展開
 - ・通常のデジタルサイネージ(CMS・STB・HDD があり、CMS 上でコンテンツを制御してアップロード・プレイリストから表示)とは異なる
 - ・既存のソーシャルネットワーク(インスタグラム、フェイスブック、ツイッターなど)上に写真、動画やテキストをアップロード
 - API に従って、写真・動画・テキストを抽出し、それをデジタルサイネージに最適化したレイアウトと背景を用意し活用する
 - ・メリット：お金がかからない、新たな投資がいらない
 - ・ソーシャルネットワーク上の課題：見るという意志がないと情報に接することはできず、そのコミュニケーションに参加できない
 - デジタルサイネージをたまたま見るというようなコミュニケーションがありえる
 - デジタルサイネージとスマートフォンの連携やマルチデバイス・マルチスクリーンの考え方がほぼこの方式で解決
 - ・SNS というバーチャルな場所とお店や街角というリアルな場所を両方にデジタルサイネージとソーシャルネットワークが連携することによって、間にクラウドを介するが、両方クリアできる
 - ・オンラインとオフラインの両方で同じ体験、同じコミュニケーションを図れる
- エンプランはそれを実現しようとしている会社
- ・日本でもインセプト・マイクロエージェンシー「FLOW」が同じコンセプトでサービスを開始
 - ・FLOW の場合はインスタグラムをサイネージに可視化している
 - ・インスタグラムはインスタグラムで世界中の人達とコミュニケーションが成立してて、お店(フィットネスクラブ)のサイネージに流用している
 - ・利用料は 0 円、システム投資も 0

②ゲストプレゼンテーション

「Raspberry Pi を採用したサイネージ用 STB のご紹介」

プレゼンター

株式会社ビズライト・テクノロジー 三島 康弘 氏

- ・タッチパネルのデジタルサイネージだけでなく、販促用デジタルサイネージもやり、その色々と試行錯誤する中で、シングルボードコンピュータという IoT の流れの中で出てきた新しいハードウェアを発見
→低価格サイネージを拡大できるのではないか

○低価格サイネージへの誤解

- 誤・・・信頼性が落ちるのは仕方がない、運用でカバー
- 正・・・放置できるだけの信頼性が必要

○シングルボードコンピュータ

- ・トレード・オフの関係を壊すと思착目
- ・一つのボードだけでコンピュータと同じ能力を搭載している
- ・デジタルサイネージが変えられるのではないか

○Raspberry Pi

- ・2012年に発売されて以降、累計 500 万台出荷
- ・販売価格 35 ドル(台)
- ・HD の映像を流す分では十分な性能
- ・Linux ベースで安定
 - ・アンドロイドは 24 時間運用するのに十分ではない
 - ・Linux は連続稼働に対する信頼性が高い
- ・拡張性が高い
 - ・教育用に作られているので、拡張性が高く、センサーが付けられる
 - ・人感センサー・距離センサーを付けられる→サイネージに可能性を高められる

○サイネージに使えるように製品化

- ・汎用ボックス「BH1」
 - ・鉄のボックスに入れることで静電気やノイズ、熱への耐性強化
 - ・自動シャットダウン機構・・・低価格サイネージは扱い方が荒い
→販促用のサイネージはブレーカーごと落とす為、壊れやすい
→BH1 は予備電池を搭載し、電源が落とされてもシャットダウンできるようにした
 - ・センサーなどを追加できる拡張性
 - ・時計機能

- ・操作スイッチ

○拡張性

- ・観光地などでバス案内を多言語で提供
- ・インタラクティブなサイネージを導入しようとする、裏側に Window PC、セットボックス(10万ぐらい)を入れないといけなかったが、BH1ならセンサーを付けるだけでインタラクティブサイネージが可能
- ・タブレットとの連動。
 - ・BH1に Bluetooth を取付けタブレットと繋げ、タブレットで描いたものデジタルサイネージに連動して表示することができる
 - ・映像や画像も転送が可能
 - ・低価格のサイネージでもタブレットでコンテンツ制作を簡単に作り流すことが可能

○事例

- ・トヨタ労連保養所
 - ・ジオラマのボタンを押すと観光地 LED が光り分かるようになる
→ジオラマと BH1 が連動して、ボタンを押すとモニターに観光映像が流れる
 - ・オンライン切り替えも行っている
 - ・運用して1ヶ月以上経つ

③ゲストプレゼンテーション

「東京都港区が考える、住民・来街者への情報コミュニケーションとデジタルサイネージ（仮）」

東京都港区 企画経営部 区長室 広報係長 竹村 多賀子 氏

東京都港区 企画経営部 区長室 広報係 本城 典子 氏

<きっかけ>

- ①滞留時間を使って情報を配信したい
- ②効率的に情報を配信したい

+

- ③緊急・災害時の情報を配信したい

広報係…情報発信をする。

広報番組

- ・ 時間手間をかけており、月に4本作っている。
- ・ 配信ツールがあまりないことから、

基本的にはケーブルテレビとYouTubeで流している。

- ・ とにかく見てもらいたい。

ホームページ

様々な情報を提供している。

区のHPは用の無いときは見ない。ついででは見ない。

→もう少しなかできるのでは？

災害時に速やかに性格な情報をより多くの情報を届けたい。

<①について>

待ち時間を使ってプッシュ型で情報を届けたい

○区役所のロビー

△都内のコミュニティバスのバス停（9路線）

△喫煙場所

○…注力 △…実現時間かかる

<②③について>

- ・ ホームページアップ情報
- ・ 災害、緊急情報が発信されると同時に

Twitter、Facebookでも配信（日本語以外の三言語も同時に流れる）

- ・ 広報番組などの映像
- ・ バスの車内モニターでも配信中

<最も大事にしていること>

- ・ 効率的な情報発信

情報ツールを増やし、職員の仕事を増やす→本来業務に支障

本来業務を大事にしすぎる→情報発信に支障

手間をかけずに多くの方に多くのツールに多くの情報を発信したい。

全ての情報を二次利用、システム自動連携し、

同じ情報を別の情報として作り替えるとチェックが大変。

自動連携も再重要ポイントとしてシステムを作ってもらっている。

災害時は職員が限られた人数しか出勤できず、通常と違う勤務体制。

しかし情報は絶対必要で求められるもの。

限られた人数でも効率的に情報発信できるように、と考えると

今回考えている配信の仕組みは、とても有効に活用できるものだと考えている。

<配信システムについて>

様々なツールと連携している。

資料中央上…現在作っている配信システム

資料三つ下…ページ管理ツールとの連携

資料その上…緊急情報との連携

資料中央一番上…区議会中継（ネットで配信中）

日々更新される天気予報、ニュース

資料左（液晶ディスプレイ）…サイネージ部分

上側、一般的な液晶サイネージ

下側、ペーパーサイネージ（今回の特徴の一つ）

ペーパーサイネージ

様々な事業者から提案を頂いた。

災害時の優位性、可能性を考えると面白い。

他自治体への視察

- ・ 60インチサイネージ（災害時にも利用する考え）
- ・ 蓄電池を備えていながらも、停電後は数時間しかもたない。

→液晶で災害対応を考えるだけでは足りない

→ペーパーサイネージ

民間サイネージ（資料右上）

民間事業者と協力して情報を発信して行く。

東日本大震災の際、コマーシャルは流せない。

NHKニュースを流していた。

↓

港区では、共有サーバーを用意して、区の情報を置いておくので
協力して下さる民間企業に情報を提供

<まとめ>

大きな特徴

- ・ 様々な事業連携による効率的な情報発信
- ・ 民間事業者の大型モニターと連携した情報発信
- ・ ペーパーサイネージの特性を活用した情報発信

全国的にも珍しい仕組み。

<具体的なイメージ>

実際のもは現在ないが、液晶とペーパーをダブルで設置する。

- ・ ペーパーサイネージ

9.7インチを想定。

テキストベース。

災害時に流す災害情報中心。

日々違う情報（ニュースや天気）を配信することで災害時も見てもらおう。

緊急情報はいつ出るか分からないので、割り込みで流れる仕組みを検討中。

サイネージごとに違う情報を出す予定。

- ・ 液晶サイネージ

平常時の活用をメインに考えている。

広報番組、イベント情報、各地域の情報、区議会中継、時事ニュースや天気

<3年間の設置スケジュール>

初年度…区役所や総合支所

2、3年目…いきいきプラザ、公園（ペーパーサイネージのみの予定）

<現在の課題>

- ・ バス停

設置場所・電源・通信手段の確保。

時刻表がペーパーサインージだと時刻表や運行情の変更が安易に可能。

それ以外にも役立つ情報の提供を考えているが、屋外広告物条例の規制あり。

wifiスポット…観光政策部署との連携

- ・ 喫煙場所

多くの区民の方とトラブルの原因となっている場所でもある。

先行投資が難しい。

4) 事務局より報告

- ・ DSC 報告会のお知らせ

日時：2015年6月16日(火) 10:10-10:30

会場：山王健保会館 会議室A・B

- ・ 次回勉強会

日時：2015年6月16日(火) 10:30-12:00

会場：山王健保会館 会議室A・B

以上